

登録コード	SD514300	開講年度	2026				
授業題目	堆積・古生物学実験Ⅱ				担当教員	山田 桂 他	
英文授業名	Practice in Sedimentology and Paleontology Ⅱ				副担当	吉田 孝紀・常盤 哲也・山田 昌樹	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・3時限 木曜・4時限	対象学年	3年
講義室	理学部第7講義室		授業形態	実験	遠隔授業科目	備考	自由／自由
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Sカリ, 2 5 Sカリ, 2 4 Sカリ, 2 3 Sカリ						
	【2023年度以降カリキュラム対象】理学の各分野における専門知識				⇔	専門知識に基づいて, 化石の抽出と分類, 地層の観察法について理解する.	
	【2023年度以降カリキュラム対象】専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し、その成果を的確に他者に伝える力				⇔	専門知識に基づいて, 化石の抽出と分類, 地層の観察法について理解する.	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	主として古生物学的手法に基づく手法について学ぶ. 微化石の抽出法, 観察手法や記録法, 分類法について理解する.						
(5)授業のキーワード	科学リテラシー, 問題発見・解決能力, 普遍的・数量的理解力, 専門知識と応用力, 地域環境に関する理解, 環境基礎力						
(6)授業計画	1. ガイダンス, ビデオ学習 2-3. 野外巡検ー長野県北部の地層ー 4. 放散虫の電子顕微鏡観察1 5. 放散虫の電子顕微鏡観察2 6. 放散虫の電子顕微鏡観察3 7. 二枚貝・腕足類のスケッチと同定 8. 二枚貝の統計解析 9. 現世生物礁の構成 10. 造礁生物の微細構造の観察 11. 珪藻化石のプレパラート作成 12. 珪藻化石の観察 13. 有孔虫・貝形虫の観察1 (試料処理) 14. 有孔虫・貝形虫の観察2 (拾い出しと種同定) 15. 海底表層堆積物の観察, アンケート ＊実施順番は変更になります. 最初の回でお知らせします.						
(7)成績評価の方法	毎回の課題・実験結果のレポート提出による.						
(8)成績評価の基準	原理と分析法などの理解度9割以上をS, 8割以上9割未満をA, 7割以上8割未満をB, 6割以上7割未満をC, それ以下をDとする.						
(9)事前事後学習の内容	特になし						
(10)履修上の注意	前期に開講する「堆積・古生物学実験Ⅰ」を受講していること. 実習時には学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険への加入を確認すること.						
(11)質問,相談への対応	山田のオフィスアワーは毎週月曜日10:00-12:00とする. その他, 可能な時はいつでも対応する. また, E-mail (katsurai@shinshu-u.ac.jp) でも受け付ける.						
【教科書】							
【参考書】	新版・碎屑物の研究法 公文富士夫・立石雅昭編 地学団体研究会 化石の研究法ー採集から最新の解析法まで 化石研究会 (編) 共立出版						